

目次

編集にあたって 3

環境経営の推進 4

- 持続可能な社会の実現を目指し
—最高環境管理統括者挨拶—
- 環境憲章
- 環境経営の基盤
- 第9次環境経営活動基本計画(2016~2018年度)と環境ビジョン2020の推進

2015年度の事業活動の総括 8

- 2015年度の活動目標と活動実績評価
- 2015年度の事業活動のマテリアルバランス
(環境負荷の全体像)

低炭素社会の実現 11

第8次計画(2013-2015年度)の重点施策・目標と2015年度の結果

低炭素社会の実現に向けて

- 省エネ推進活動
- TOPICS: 省エネの実施例: 明石工場へのエネルギーマネジメントシステム開発・導入
- 生産活動におけるCO₂排出量の削減
- 製品貢献によるCO₂排出量削減
- サプライチェーンにおけるCO₂排出量の試算
- 物流過程における温室効果ガスの排出量削減
- 再生可能エネルギーの利用

第9次計画(2016-2018年度)の重点施策と目標

循環型社会の実現 14

第8次計画(2013-2015年度)の重点施策・目標と2015年度の結果

循環型社会の実現に向けて

- 廃棄物排出量の削減
- PCB処理の推進

第9次計画(2016-2018年度)の重点施策と目標

自然共生社会の実現 15

第8次計画(2013-2015年度)の重点施策・目標と2015年度の結果

自然共生社会の実現に向けて

- 化学物質の削減
- 森林保全活動
- 水の省資源化
- 生物多様性の取り組み
- ELV指令、RoHS指令、REACH規則などの
海外の法規制への対応

第9次計画(2016-2018年度)の重点施策と目標

環境マネジメントシステム(EMS)の確立 18

第8次計画(2013-2015年度)の重点施策・目標と2015年度の結果

環境マネジメントシステムの確立に向けて

- 川崎重工グループにおける環境管理体制
- TOPICS: 川崎重工グループでの環境管理体制の充実
- 法規制の順守状況
- リスクマネジメント
- 環境コミュニケーションの推進
環境意識の向上
環境eラーニング
有資格者の養成

第9次計画(2016-2018年度)の重点施策と目標

環境ブランドの向上 23

第8次計画(2013-2015年度)の重点施策・目標と2015年度の結果

環境ブランドの向上に向けて

- Kawasakiグリーン製品促進活動
- 製品アセスメントの実施
- 外部への情報公開

第9次計画(2016-2018年度)の重点施策と目標

- 第3回 Kawasakiグリーン製品発表
- TOPICS: モーターサイクル&エンジンカンパニーにおける取り組み

環境データ 32

- 川崎重工環境データ
- 事業所別環境データ
- 関連企業の環境データ

温室効果ガス排出量に対する第三者検証 37

編集にあたって

対象期間

2015年度(2015年4月1日～2016年3月31日)。ただし、一部期間外の活動を含んでいます。海外子会社については拠点が置かれている地域によって会計年度や集計対象期間が異なります。

対象範囲

川崎重工業株式会社

ただし、川崎重工グループとした際は環境管理対象の関連企業(P19)を含む

発行頻度：年度報告書として毎年一回発行予定

編集発行元：総務本部 地球環境部

発行責任者：地球環境部長

参考ガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」

GRI「サステナビリティ・レポート・ガイドライン第4版」

免責事項

本レポートは、当社グループの過去と現在の事実だけでなく、発行日時点における計画や見通し、経営計画・経営方針に基づいた予測が含まれています。これらは記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸与件の変化によって将来の事業活動の結果や事象が記述内容とは異なったものとなる可能性があります。